

令和6年(2024年)5月9日発表

記者発表資料

宝塚市政記者クラブ各位

「宝交早生苺」を食べる！ 甲子園大学で環境体験学習を実施します

甲子園大学菜園実習場で栽培された「宝交早生苺」をテーマに、市立小学校3年生を対象に環境体験学習を実施します。昨年、宝塚大会議で立ち上がった「宝交早生苺プロジェクト」の一環として、昨年11月にプロジェクトの一員である甲子園大学で宝交早生苺を植え、5月に収穫時期を迎えています。この体験学習を通して、苺が育つ環境や自然の仕組みを学ぶことで児童たちが環境問題について考えることを目指します。

1 実施場所等

甲子園大学(紅葉が丘10-1)

5月13日(月) 10時00分~11時30分(予定)

参加校: 光明小学校3年生

※取材をご希望の方は、事前に学校教育課へ貴社名と参加人数をご連絡ください。

2 講師

甲子園大学 松岡大介 准教授

3 学習内容 (予定)

- ・宝交早生苺の特徴や歴史
- ・宝交早生苺プロジェクトで行っている環境に関する取組について
- ・苺に関する食育活動 (栄養学科 3 年生 : 食と地域の実践演習)

※宝塚大会議とは

市制施行 70 周年を機に、包括連携協定先の企業や大学が持つノウハウや知見などを生かして、持続可能なまちづくりに向けた取り組みの展開や新たな価値の共創をさらに推進するため令和 5 年度に設置したものです。

※宝交早生苺とは

宝塚市にあった兵庫県農業試験場宝塚分場で開発され、昭和 35 年に発表された品種です。1980 年代のイチゴ生産の 5 割以上は宝交早生でしたが、果皮が軟らかいため輸送時に傷みやすく、次第に市場には出回らなくなっていきました。

4 問い合わせ先

環境体験学習について : 学校教育課 TEL : 0797 - 77 - 2028 (直通) 担当 : 石田、今出

宝塚大会議について : 企画政策課 TEL : 0797 - 77 - 2001 (直通) 担当 : 古寺、内田

